

犬山市民合唱団

心を一つにしたハーモニーで 合唱の魅力伝える

犬山市民音楽祭や犬山市民合唱祭など地域のさまざまな行事に出演し、美しい歌声を響かせている犬山市民合唱団。

創立から34年を経て、定期演奏会は19回を数えます。これまでの活動を振り返り、合唱の魅力や今後にかける思いを聞きました。

団員減少の危機を乗り越え約700人を集める合唱団に

犬山音楽文化協会の加盟団体として、犬山市を中心に活動している犬山市民合唱団。設立は今年から30年以上前、昭和58年にさかのぼります。「設立のきっかけは、翌年に予定されていたベートーベン『第九』演奏会。演奏会のために『犬山第九を歌う会』の母体として結成されたのが始まりです」と話すのは、団長を務める山本雄雄さん。

犬山市を中心に団員を集め、名古屋フィルハーモニー交響楽団による「第九」演奏会で初ステージを飾りました。その後、昭和60年に第1回定期演奏会を開催。以降は数年に1度のペースで演奏会を続けています。大きな転機となったのは、年号が平成に変わった頃。高校や大学

の部活動の多様化から、全国的に合唱人気が低迷します。犬山市民合唱団の団員も一時は5〜6人まで減少しました。

「このままではいけない」と、指揮者の谷鈴代さんと当時の団員が一致団結。知人への声かけを中心に募集活動に尽力し、見事に再生を果たします。定期演奏会の観客も増え、会場の犬山市南部公民館に立ち見客がでる時も少なくありませんでした。創立20周年を迎えた平成16年には、さらに多くの観客を迎えるため、会場を犬山市民文化会館の大ホールに変更。第12回定期演奏会を開催しました。

平成26年には、姉妹都市である丹波篠山市に遠征し、篠山音楽祭に出演。創立30周年を記念した平成27年の定期演奏会には約700人の来場者を集め、大成功を収めました。

合唱の魅力を体感 地域との交流を広げる

大きな会場のイベントだけでなく、3年前からは地域との交流を活性化させました。年に数回、病院や福祉施設で慰問演奏を実施。約15人の少数編成で、誰もが知っている曲を一緒に歌ったり、ゲーム要素を取り入れたりと、今まで合唱に触れてこなかった人も、気軽に親しめるようになっています。

新たに団員を増やし、より活動を充実させていくのが今後の目標です。未経験者でも練習を積み重ねていけば、必ず上達します。「二人ひとりの歌声が重なり、美しい音楽になった時、他には代えがたい喜びを得られます。この感動をぜひ多くの人に体験してほしいです」と山本さん。

3月4日には、犬山市南部公民館で犬山市民合唱祭が開催されます。犬山市内で活動する各合唱団が一堂に会し、日頃の活動や練習の成果を発表する大切な機会です。「合唱の楽しさや素晴らしさをじかに感じて、興味をもってもらえたらうれしいです。一緒に歌いたいと思った方は、ぜひ練習場を訪ねてみてください」

合唱への思いを歌声に乗せて、地域に魅力を伝えていこうとしている犬山市民合唱団。さらなる活躍を期待せずにはられません。



昨年9月に行われた第19回定期演奏会。会場の犬山市民文化会館大ホールに約600人の聴衆が集まりました



練習は週に一度。普段は和気あいあとした雰囲気ですが、歌声を合わせるときは真剣な表情を見せます。さまざまなジャンルの曲を歌いこなし、多彩なメロディーやハーモニーで思いを表現しています

一人ではなく全員で心を打つハーモニーを

犬山市民合唱団の活動は、昨年9月に19回目を迎えた定期演奏会に限りません。近年は、毎年3月の犬山市民合唱祭や秋の犬山市民音楽祭、尾北コーラス連絡協議会主催の合唱祭など、さまざまなイベントに出演しています。

現在の団員数は、犬山市在住のメンバーを中心とした32人です。60代が多く、中には親と一緒に参加している高校生もいます。定期練習は毎週火曜日の夜。犬山市福祉会館の音楽室で、毎回2時間の練習に取り組んでいます。

練習では常に周囲の声に耳を澄ませます。うまく連携が取れていないと、歌っている自分の声が聞こえるそう。会場の隅々まで歌声が

Information

犬山市民合唱祭

日時 3月4日(日) 開場12時30分、開演13時
会場 犬山市南部公民館(犬山市羽黒摺墨11) 講堂
入場 無料(全席自由)
問い合わせ: 0568-61-1752(犬山音楽文化協会 事務局)

犬山市民合唱団 団員募集

詳細は公式ウェブサイトをご覧ください
【公式ウェブサイト】
<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~harmony/>
もしくは犬山市民合唱団で検索を



創立30周年を記念して行われた平成27年の第18回定期演奏会